

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2017-55198(P2017-55198A)

【公開日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-011

【出願番号】特願2015-176561(P2015-176561)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

G 0 3 B 27/62 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 6 Z

H 0 4 N 1/12 Z

G 0 6 T 1/00 4 3 0 B

G 0 6 T 1/00 4 3 0 J

H 0 4 N 1/387

G 0 3 B 27/62

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートを装置本体内に取り込む取込手段と、
前記装置本体内でシートに対する第 1 処理又は第 2 処理を行う処理手段と、
前記装置本体の設置状況を検出する検出手段と、を備え、
前記処理手段は、前記検出手段の検出結果に基づいて、前記第 1 処理又は前記第 2 処理を選択してシートに対する処理を実行することを特徴とするシート処理装置。

【請求項 2】

前記処理手段は、シートの画像を読み取る画像読取手段であり、
前記第 1 処理と前記第 2 処理とは、異なる読取条件に基づく読取処理であることを特徴とする請求項 1 に記載のシート処理装置。

【請求項 3】

前記処理手段は、画像読取手段が読み取った画像データの画像処理を行う画像処理手段であり、
前記第 1 処理と前記第 2 処理とは、異なる画像処理の条件に基づく画像処理であることを特徴とする請求項 1 に記載のシート処理装置。

【請求項 4】

前記取込手段によりシートを取り込む取込口にてシートの有無を検知するシート検知手段を更に備え、
前記第 1 処理は、処理開始命令を受けたときに、前記シート検知手段がシートを検知するか否かに関わらず処理を開始する形態であり、
前記第 2 処理は、処理開始命令を受けた後に、前記シート検知手段がシートを検知して

から処理を開始する形態であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のシート処理装置。

【請求項 5】

原稿画像を読取る原稿読取手段と、

原稿を給紙する原稿給紙手段と、

給紙された原稿を画像読取手段に向け送り込む原稿送り手段と、を有する画像読取装置において、

前記画像読取装置の設置位置を検出する設置位置検出手段と、

前記画像読取装置が画像読取処理開始命令を受けたときに行う第 1 の原稿読取形態と、

前記画像読取装置が画像読取処理開始命令を受けたときに行う、前記第 1 の原稿読取形態とは異なる第 2 の原稿読取形態と、を備え、

前記設置位置検出手段の検出結果に基づいて、前記第 1 の原稿読取形態もしくは前記第 2 の原稿読取形態のどちらかを選択し、原稿の読取りを開始することを特徴とした画像読取装置。

【請求項 6】

給紙口にて原稿の有無を検知する原稿検知手段と、

前記原稿検知手段にて原稿を検知するまで原稿読取の開始を待つ原稿読取開始待機手段をさらに備え、

前記第 1 の原稿読取形態は、装置が画像読取処理開始命令を受けると、画像読取を開始し、

前記第 2 の原稿読取形態は、装置が画像読取処理開始命令を受けた後に前記原稿読取開始待機手段によって待機し、前記原稿検知手段による原稿検知後に画像読取を開始することを特徴とする請求項 5 に記載の画像読取装置。

【請求項 7】

給紙口に設けられ、前記給紙口からの原稿の給紙時に原稿が積載される前部フレームと

、
原稿画像内の原稿部分の傾きを補正する原稿画像傾き補正手段とをさらに備え、

前記前部フレームが所定の角度でないときには前記第 1 の原稿読取形態を、前記前部フレームが前記所定の角度であるときには前記第 2 の原稿読取形態を選択し、

前記第 1 の原稿読取形態は、原稿傾き補正手段で、読取った画像を傾き補正し、

前記第 2 の原稿読取形態は、傾き補正処理を行わずに原稿を読取ることを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の画像読取装置。

【請求項 8】

前記画像読取装置の傾きを検知する装置角度検知手段と、搬送速度を制御する搬送速度制御手段と、を更に備え、

前記第 1 の原稿読取形態は、前記搬送速度制御手段により搬送速度を低速から高速に上げる搬送制御を行い、原稿を読取り、

前記第 2 の原稿読取形態は、前記搬送速度制御手段により一定速度で搬送制御を行い、原稿を読取り、

前記装置角度検知手段により前記原稿が給紙される給紙口が下に向いている場合に、前記第 1 の原稿読取形態を選択し、そうでない場合に前記第 2 の原稿読取形態を選択して原稿の読取りを開始することを特徴とする請求項 5 に記載の画像読取装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

原稿 D の後端がレジストセンサ 10 を通過し一定時間経過後、画像読取を終了し、原稿 D を搬送ローラ 7 によって装置外へ排出する。矢印は原稿が搬送される方向を示している

。なお、上記シェーディング補正データの生成と記憶は、積載された原稿の全てに対して最初に 1 回行うだけでもよく、数枚ごとに再度行ってもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

アプリケーション 50 とスキャナドライバ 51 との間は T w a i n 規格で決められたプロトコルで通信を行っている。スキャナドライバ 51 と画像読取装置 1 との間では、U S B 規格で決められたプロトコルで通信を行っている。なお、ユーザーはアプリケーション 50 とスキャナドライバ 51 を P C 3 0 にインストールして使用する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

ユーザーが、スキャンボタンを押下すると、アプリケーション 50 はスキャナドライバ 51 を介して、画像読取装置 1 にスキャン開始命令を送る。スキャン開始命令を受けると、画像読取装置 1 はスキャンを開始する。C l o s e ボタン押下するとユーザーインターフェース 60 は終了する。